

第119回 幻住庵俳句コンクール

番号	句	住所・氏名
1	ただよう香のなかひがな遊べる白梅	大津市朝日が丘 島田 靖子
2	近江路の間に鮮やぐ春祭	和歌山市松島 藤本 潤子
3	白壁の土蔵に揺らぐ青柳	和歌山市松島 藤本 潤子
4	早春の山に映ろう石山寺	神奈川県横浜 谷元 博樹
5	山門といふ春風の出入口	神奈川県横浜市 谷元 博樹
6	「瀬つせ瀬せ」雄叫び赤き左義長祭	和歌山県海南市 林 公子
7	赤き山車炎猛たる左義長祭	和歌山県海南市 林 公子
8	水の音が桃色濃す春のあけぼの	甲賀市水口町 藤 達太郎
9	春の庭フィルムに焼きつけ光る君へ	甲賀市水口町 藤 達太郎
10	紅梅や濃みし空舞ふ鶯一羽	大津市田辺町 山田 和義
11	俳聖や権の合間を春の風	大津市田辺町 山田 和義
12	石山にはせを寄るらむ初桜	高槻市南平台三 伊達 雅和
13	石山の石に花散る運氏の間	高槻市南平台三 伊達 雅和
14	桜咲き紫式部会いに来る	岡山市北区 片山 清香
15	石山寺紫式部桜咲く	岡山市北区 片山 清香
16	筆箱にひそむ土筆の二三本	大津市別保二 田中 文子
17	離壇の奈落だれかの化粧筆	大津市別保二 田中 文子
18	小石投げ小さき春の波紋かな	大津市松本二 松田 翔
19	ランナーと桜気にして草野球	大津市松本二 松田 翔
20	嘴に赤い実ひとつ夢見月	大津市松本二 松田 翔
21	せいくらべするや釣竿捕虫網	大津市松本二 松田 翔
22	柱きず繕し寂しや中学生	大津市園分一 藤堂 隆司
23	柱きず消えぬメモリに想い馳せ	大津市園分一 藤堂 隆司
24	あたらしい春のにおいがええ感じ	甲賀市水口町 森 智也
25	空を希む野に咲く桜々と	甲賀市水口町 森 智也

第119回 幻住庵俳句コンクール

番号	句	住所・氏名
26	尋ね来てまひろの恋の突りあれ	湖南市下田 植西 きぬ糸
27	石山の春の白光展の道	東京都千代田 高田 雄太
28	石光山式部を習ひ徳勉む	東京都千代田 高田 雄太
29	石山のほひただよう参詣路	三田市 田口 忠雄
30	いにしへのほひただよう春がすみ	三田市 田口 忠雄
31	石山で春を感じるやよいつき	守山市大門町 山本 定晃
32	式部像見むと杖つき春時雨	大塚市南一色町 度会 さち子
33	一心に芽木の風吹く芭蕉句碑	大塚市南一色町 度会 さち子
34	照り戻ける瀬田のさざなみしじみ汁	大塚市南一色町 度会 さち子
35	観覧の山をはるかに残り鴨	大塚市南一色町 度会 さち子
36	友と来てオキナ返し幻住庵	湖南市下田 谷村 美栄子
37	桜散り我の人生散らずかな	記名なし
38	桜まださいてなかつたくやしいよ	記名なし
39	むらさきの新コーナーや春うらら	近江八幡市篠原町 藤本 秀穂
40	かけがひの妻と探歩春の風	近江八幡市篠原町 藤本 秀穂
41	桜散る石山寺の石に散る	大塚市木戸町 山下 美夜子
42	春なれや石山寺のむらさきに	大塚市木戸町 山下 美夜子
43	生還の父の姿あく花見かな	大塚市石山寺三 小野 寛
44	酒好きの酒呑むための花見かな	大塚市石山寺三 小野 寛
45	啓蒙やそぞろうこめく旅心	大塚市石山寺三 小野 寛
46	訪ねばや花の高遠流人の碑	大塚市石山寺三 小野 寛
47	流罪人汚名の墓や下萌ゆる	大塚市石山寺三 小野 寛
48	俳聖の墓ある膳所の桜かな	大塚市石山寺三 小野 寛
49	ちやぶちやぶと浮き枕橋や鳩の群れ	大塚市田辺町 山田 和義
50	北風やなほ連れ無くも日差し微	大塚市田辺町 山田 和義